

第61回下水道研究発表会 論文発表(口頭・ポスター)申込要領

1. 下水道研究発表会の目的

本発表会の開催目的は、公共団体や学校、民間の下水道事業に携わる研究者や実務者が、経営・計画、雨水対策、建設、維持管理、水処理技術、汚泥処理技術、計測・制御等の分野における研究成果の発表、実務・事例報告の発表を通して、情報交換し議論することにより、下水道事業の発展に資することを目的に開催するものです。

2. 発表の内容

下水道に関する研究成果の発表および実務・事例報告とし、未発表のもの（本会が発行し本会に著作権が譲渡された協会誌等の原稿は除きます。）とします。ただし、英語部門では、英語で未発表のものとし、発表内容が宣伝的なもの、他者を誹謗中傷するような内容と見なされた場合、その他論文としての体裁が著しく整っていない場合など、下水道研究発表会企画運営委員会で発表不可と判断されたものは発表できません。

発表の可否に関する判断基準は「6. 応募論文の発表可否に関する判断基準」を御覧ください。

なお、発表形式として、「口頭発表」、「ポスター発表」の2種類があります。それぞれの特徴を考慮して選択してください。

3. 発表者の資格(申込時)

- (1) 本会会員（会員団体に所属する下水道関係者を含む）
- (2) 関係官庁、同付属研究機関及び大学等の教授等
- (3) (2)に該当する大学等の教授等の教室に所属する学生（高専、大学、大学院生）
- (4) 上記(1)～(3)以外に、下水道の研究等業務に携わっている方

4. 開催までのスケジュール

- (1) 発表申込期間

口頭・ポスター発表申込期間（論文要旨の提出）

令和5年12月22日(金)～令和6年2月13日(火)厳守

※上記期限を過ぎた場合は、お申込みできません。

※募集編数に達した時は、申込を終了することがあります。

- (2) 論文提出

論文提出期間（ポスター発表の方も講演集に掲載するため、論文を提出していただきます。）

令和6年3月1日(金)～4月8日(月)厳守

※上記期限を過ぎた場合は、受理できません。必ず期限内にご提出ください。

- (3) 聴講者募集

研究発表会の聴講者募集期間

令和6年6月上旬～7月中旬（予定）

- ・発表者は発表料の支払いのみで、3日間会場聴講できます。ライブ配信は、別途有料でお申込みが必要です。

- (4) 論文講演集

論文講演集を発刊いたします。（7月上旬頃を予定）

5. 第61回下水道研究発表会の概要

- (1) 期日：令和6年7月30日(火)～8月1日(木)の3日間
- (2) 場所：タイム24ビル（東京ビッグサイト近隣ビル）
- (3) 発表は、日本語による口頭発表、ポスター発表、英語による口頭発表、ポスター発表の4部門となります。発表は会場で行っていただきます。

日本語口頭発表部門
①発表時間：1編15分（発表10分、質疑応答5分） ②募集編数：約370編 ③発表方法：パワーポイントのみ使用できます。発表者等が操作してください。 ④口頭発表部門は、「特定課題セッション」と「通常セッション」を設けています。具体的なセッション名は巻末の「下水道研究発表会セッション名一覧」を御覧ください。 ・「特定課題セッション」は、「通常セッション」の枠を超えた研究や複数のセッションに関連するもの、あるいは話題性のあるキーワードに関するものを集めたセッションです。 ・「通常セッション」は、10分野に分けて募集します。 ・発表時間、発表方法等は、「特定課題セッション」「通常セッション」とも同じです。 <u>※申し込みいただいたセッションは下水道研究発表会企画運営委員会にて審査後、変更となる場合があります。HPで7月上旬公開予定のプログラム最終版を必ずご確認ください。</u> ⑤発表言語は日本語とします。
日本語ポスター発表部門
①発表方法：発表会場（一つの会場）で複数の発表を同時に行い、発表者が製作・持参したポスターを展示・説明し、来場者と自由に討論します。 ②発表時間 ・ポスター掲示は7月31日（水）～8月1日（木）です。 ・ポスター発表日は、7月31日（水）12:30～14:00です。 ・ポスター掲示期間中は、聴講者の自由な閲覧時間とします。発表者は少なくとも、発表時間中は必ず自分のパネルの前に控えてください。 ・発表時間以外にも掲示期間内での発表は自由です。また、他のポスターや口頭発表を聴講することができます。 ③募集編数：約20編 ④ポスターサイズ：原則A0サイズ縦もしくは横。 ⑤発表言語は日本語とします。
英語口頭発表部門
①発表時間：1編15分（発表10分、質疑応答5分） ※第61回から発表時間が15分となりました。 ②募集編数：約15編 ③発表方法：パワーポイントのみ使用できます。発表者等が操作してください。 ④口頭発表部門は2セッションを設けています。具体的なセッション名は巻末の「下水道研究発表会セッション名一覧」を御覧ください。 <u>※申し込みいただいたセッションは下水道研究発表会企画運営委員会にて審査後、変更となる場合があります。HPで7月上旬公開予定のプログラム最終版を必ずご確認ください。</u> ⑤発表言語は英語とします。
英語ポスター発表部門
①日本語ポスター発表部門の①②④と同様です。 ②募集編数：約5編 ③発表言語は英語とします。

(4) 論文の作成について

下水道研究発表会HPの「論文作成について」に掲載しております、「下水道研究発表会論文作成要領」を必ずご確認の上、作成してください。また、「全体構成に留意した論文作成について」、「日本語レイアウト」及び「英語レイアウト」も参考にしてください。

(5) 講演集への掲載

論文を「下水道研究発表会講演集」に掲載いたします。

(紙媒体では白黒刷り、電子データはカラーを予定)

(6) 発表者の表彰

下水道研究発表会企画運営委員会によって優秀な発表者を選出する予定です。

ただし、発表予定者と当日の発表者が一致しない場合は、審査の対象外となります。

(7) 同時期に下水道展'24東京を開催予定です。

期日：令和6年7月30日(火)～8月2日(金)の4日間

場所：東京ビッグサイト

※今回の下水道研究発表会会場と下水道展会場が離れているため、下水道研究発表会会場から下水道展へ来訪される方に「ゆりかもめ」の切符を配布します。詳細は項目11をお読みください。

6. 応募論文の発表可否に関する判断基準

(1) 基本的考え方

- ・特定の団体、製品、工法、新技術等を宣伝することを目的とした論文は発表できません。
- ・特定の団体、製品、工法、新技術等を誹謗中傷する内容を含む論文は発表できません。
- ・一つの論文として発表できる研究内容を分割した論文は発表できません。
- ・他の論文や発表と独立した体裁としてください。
- ・その他、論文の体裁が、下水道研究発表会専用ホームページに掲載する「下水道研究発表会論文作成要領」に規定する書式に著しく逸脱しているなど、下水道研究発表会企画運営委員会において発表することが不適当と判断されたものは発表できません。

(2) 宣伝目的とみなす判断基準

- ・宣伝を目的とした論文とは、特定の団体、製品、工法、新技術等に関して、客観的、合理的な根拠を示すことなく、これらの優秀性、優位性、有効性等について具体名を挙げ論述しているものです。
- ただし、以下の場合には発表を認めます。

- ①特定の団体、製品、工法、新技術等の紹介が目的であっても、これらの優秀性、優位性、有効性等の客観的かつ合理的な根拠を明確に示しており、発表を通じ下水道事業の発展に資するものと認められる場合。
- ②特定の団体、製品、工法、新技術等の名称を記述しているが、単に論文の主旨をわかりやすく伝えるために用いており、論文の本旨とは直接関係のないもの。

上記①、②に該当した論文については、下水道研究発表会企画運営委員会にて確認します。

(3) 分割論文とみなす判断基準

- ・分割論文とは、一つ以上の論文に同じ母集団、方法、研究課題があるもので、一本の論文として報告できる研究成果を、発表可能な最小単位に分割して、同じ研究からそれぞれの論文として種々の研究結果を報告するものです。

ただし、以下の場合には発表を認めます。

- ①同じ研究方法、課題であっても、既発表論文の続報的な発表内容であり、既発表論文と同一年度の発表でないもの。

(4) 発表可否の判定は、下水道研究発表会企画運営委員会が行います。

7. 発表者の留意事項

- (1) 「発表者」とは、発表会当日会場で発表する1名を指します。共同研究者で、研究発表会の聴講を希望される方は、令和6年6月上旬に募集を開始する聴講者としての申込みが必要になります。
- (2) 申込み編数は口頭発表部門、ポスター発表部門を通じ一人1編に限ります。ただし、英語発表部門（口頭またはポスター）については、日本語による（口頭またはポスター）発表とあわせて一人2編の発表を可能とします。
- (3) 発表プログラムは、発表申込時に提出された論文要旨、キーワードを基に下水道研究発表会企画運営委員会において編成いたします。プログラム作成後は、個人都合によるプログラムの変更等はできません。
- (4) 特許に係わる発表については、事前に特許申請を済ませてください。
- (5) 発表は会場での実施とします。発表にあたっては、パワーポイントのみ使用ができます。操作は発表者等が行ってください。パソコンおよびプロジェクターは会場に用意しています。
なお、データ作成方法等詳細については、別途、本協会ホームページでお知らせいたします。
- (6) 講演集へ掲載された時点で、論文の著作権は本会に帰属（譲渡）することとなります。なお、投稿された著作者自らが、著作物の全文、又は一部を複製・翻訳・翻案などの形で利用する場合、本会は原則として、その利用を妨げません。また、第三者から、著作物の全文又は一部の複製利用（翻訳として利用する場合を含む）の申し込みを受けたときには、特に不適切とみなされる場合を除き、本会は、これを許諾することができることとします。

8. 発表者の表彰について

優秀な発表者は、本会ホームページ並びに「下水道協会誌」に掲載いたします。

9. 申込方法

- (1) 下水道研究発表会専用ホームページ (<https://www.jswa.jp/kenpatu/>) 又は日本下水道協会ホームページ (<https://www.jswa.jp/>) の「下水道研究発表会」バナーからお申し込みください。
- (2) 申込みフォームに必要事項を御入力いただき、お申し込みください。
※申込みフォーム内の論文要旨及びキーワードは発表のセッションを決めるために必要となります。
- (3) **申込みは、締切を厳守してください。期限を過ぎた申込みはできません。**

申込締切期限 **令和6年2月13日（火）**

- (4) 申込書に記載された個人情報、本研究発表会以外の目的での利用はいたしません。
なお、本発表会を活性化する手法として、希望される方に限り、発表論文の概要を、発表会開催前に業界紙に掲載予定です。掲載案内は、本会から発表者に対して行い、概要に関する原稿は業界紙編集部へ提出していただくことを予定しています。

(申込の際の御注意)

- ・ 所定の内容に記入漏れ等がないよう、十分御確認の上、お申し込みください。
- ・ **申込後の「発表題名」と「論文要旨」の変更はできません。論文提出の際は、申込時の「題名」と必ず御照合、御確認ください。**
- ・ **申込完了後、申込者あてに受付完了メールが自動送信されますので、必ずご確認下さい。事務局で内容を確認の上、後日、別途「受付番号」を交付し、申込者あてにメールにてお知らせいたしますの**

で、申込者は発表者への連絡をお願いします。本論文の申込、研究発表会への参加についてもこの「受付番号」を使用しますので、メールは必ず保存してください。

- 論文の提出、受付証の発行、講演集申込（下記10(1)③⑤⑥の方）、申込情報の変更や発表辞退等については、「発表者申込確認ページ」により受け付けます。必要な情報については、別途申込者あてにメールにてお知らせいたします。
- 1月下旬（予定）に下水道研究発表会発表者専用サイトを開設し、発表者に必要な情報及び連絡事項を順次掲載いたします。このサイトのアドレス等につきましては、後日申込者あてメールにてお知らせいたします。

10. 発表に関わる費用とお支払方法

(1) 口頭・ポスター発表にかかる費用は、下記のとおりです。 (税込)

区分（申込時）	日本語部門	英語部門
	発表料 （発表会終了後請求）	発表料 （発表会終了後請求）
① 正会員（地方公共団体、公社等） ② 特別会員（個人） ③ 関係官庁及び同付属研究機関、 大学等の教授等 ④ 賛助会員（会社）	19,800円	11,000円
⑤ 学生（③に該当する大学等の教授 等の教室に所属している者）	5,500円 *	5,500円 *
⑥ 非会員	39,600円 *	19,800円 *

注）・研究発表会講演集は、発表料の中に含まれておりません。発刊は7月上旬頃の予定です。

・*は前納となり、3月に発表料を請求いたします。

・発表者は発表料の支払いのみで、3日間会場聴講できます。ライブ配信は、別途有料でお申込みが必要です。

- (2) 区分①正会員～④賛助会員の方は、発表料の請求書を研究発表会終了後に、申込者あてにメールで送信いたしますので、令和6年9月末までにお振り込みください。
- (3) 区分⑤学生及び⑥非会員の方に関しては、令和6年3月中旬に請求書を申込者あてにメールで送信いたしますので、令和6年4月末までにお振り込みください。
- (4) 請求書は、原則として発表申込みごとに発行します。請求書の日付は、区分①正会員～④賛助会員の方は、開催最終日の、翌日の日付とさせていただきます。区分⑤学生及び⑥非会員の方は請求書発行日とさせていただきます。
- (5) 発表料は、発表申込時の区分により請求いたします。仮に申込後、発表者の変更や、発表者の所属の変更が生じ、発表者の区分が変更になった場合でも、申込時の区分に応じて、請求させていただきます（例えば非会員区分で申込みをした後、転職等で所属が変更になり、「賛助会員」企業の社員となった場合も、申込時の区分「非会員」の金額での請求となります）。
- (6) 発表辞退については「発表者申込確認ページ」より行ってください。なお、発表辞退及び下水道研究発表会企画運営委員会において、発表不可と判定され発表を取消された場合など、次頁表の通りキャンセル料を請求いたします。

・キャンセル料について

辞退通知受領日及び発表取消通知日	キャンセル料
令和6年4月8日(月)以前	無 料
令和6年4月9日(火)～令和6年4月30日(火)まで	発表料の50%
令和6年5月1日(水)以降	全 額

※前納の方(区分⑤及び⑥)は返金時の振込手数料は返金額より差し引きます。

11. 下水道研究発表会会場から下水道展へ来場される場合の「ゆりかもめ」切符の配布について

- ・下水道展の観覧をされる方を対象に、下水道研究発表会で発表者受付時に「ゆりかもめ」のテレコムセンター駅から東京ビッグサイト駅までの切符をお渡しします。
- ・切符は、下水道研究発表会の受付証と下水道展の事前来場登録証用紙もしくはスマートフォン等の事前来場登録画面を、受付で確認し、お1人に1日あたり1枚お渡しします。また、下水道研究発表会会場から下水道展に2日以上来場を予定される場合は、来場される日の枚数をお渡しします。(例：7月31日と8月1日に下水道研究発表会会場から下水道展へ来場される場合は、事前来場登録を確認し切符を2枚お渡しします。)

なお、お1人の方が「複数名で下水道展へ行くので人数分の切符枚数を」と要求された場合、お渡しすることは出来かねますのでご注意ください。

- ・受付時に切符の申し出を失念された場合は、下水道協会の受付で、所属・氏名を申し出てください、発表者バッジと下水道展事前来場登録の確認を受けていただいたうえで、切符をお渡しします。
- ・下水道展の観覧時間を踏まえ、切符は15時30分までのお渡しとなります。
- ・下水道展の事前来場登録は令和6年5月より開始予定です。下記のリンクより事前来場登録をお願いします。<https://www.gesuidouten.jp/>
- ・なお、下水道協会で作成した切符枚数に達した場合は、配布を行いませんので、ご容赦ください。

12. 問合せ先

公益社団法人 日本下水道協会 経営・研修部 研修課 研究発表会係

TEL: (03) 6206-0284 (9:00～17:00) Eメールアドレス:kenpatu@gesuikyoku.jp

参考

(1)発表に必要な情報を記載した専用サイトのアドレスにつきましては、申込者あてにメールでお知らせいたします。

(2)論文の原稿提出期限は、**令和6年4月8日(月) 23:59まで**です(締切日:絶対厳守)。

※上記期限を過ぎた場合は、受理できません。必ず期限内にご提出ください。

なお、5月下旬頃開催予定の下水道研究発表会企画運営委員会にて上記6の判断基準に基づく発表可否審査を行います。**審査結果に基づく項目以外の論文修正はできません**ので、御了承ください。

(3)プログラムについては、6月上旬に聴講者の募集を開始する際に公開いたしますが、例年、辞退・発表者の変更等が予想されるため、最終版を7月上旬に公開いたしますので、御留意ください。

第61回下水道研究発表会 セッション名一覧

○日本語口頭発表部門

●特定課題セッション（全9セッション）

セッション名
1. アセットマネジメント（事業管理計画）／ストックマネジメント
2. 国際協力・海外展開
3. B C P ・リスクマネジメント（地震・災害時のB C P、B C Pの実践・効果、被害想定など）
4. 震災対策（津波対策、液状化対策、放射能対応、支援対策、復興対策など）
5. 集中豪雨対策（都市浸水、内水犯濫のリスク評価とその被害軽減技術、浸水予測方法とその応用、浸水ハザードマップなど）
6. バイオソリッドの利活用（消化ガス利用、固形燃料化、肥料化など）／りん等有用資源の回収
7. 地球温暖化／G X（省エネ対策、N 2 O対策、温室効果ガス、脱炭素化、グリーン化、L C A、エネルギー利用（下水熱・水力・太陽光・風力）など）
8. 官民連携（PPP/PFI、ウォーターPPP、コンセッション方式、指定管理者制度、包括民間委託）
9. D X（デジタル関連、AIなど）

●通常セッション（全10セッション）

セッション名	キーワード
1. 経営・計画・広報	経営、財政、会計方式、法律、制度、広報、広聴、パブリックインボルブメント、事業計画、行政評価、人材育成、長期戦略、改築・更新計画、コスト縮減方策、広域化、共同化、その他
2. 雨水対策	水文、浸水対策(ハード、ソフト)、雨水流出抑制、合流式下水道の改善、その他
3. 環境・水リサイクル・水系水質リスク／分析技術	流域管理、汚濁発生源、モニタリングとその解析、水生生物、再生水・雨水利用、化学物質管理（有害物質、P R T R、P P C P sなど）、病原微生物対策、バイオアッセイ、物理的試験、化学的試験、生物学的試験、マイクロプラスチック、下水疫学、その他
4. 管路（建設）	管路・ポンプ場・処理場の設計・施工、小規模施設、未普及対策技術、貯留施設、機械設備、電気設備、排水設備、監視制御設備、圧力管路システム、施設の環境対策、硫化水素対策、管更生、再構築、長寿命化、改築、その他
5. ポンプ場・処理場施設（建設）	
6. 管路（維持管理）	臭気対策、パルキング対策、修繕、事業場排水対策、返流水対策、台帳システム、防藻対策、保守点検、清掃、硫化水素対策、不明水対策、その他
7. ポンプ場・処理場施設（維持管理）	
8. 水処理技術	下水処理、産業排水処理、窒素・りん除去、膜処理、その他の高度処理、運転管理技術、消毒、微量化学物質の処理、その他
9. 汚泥処理技術	汚泥輸送、濃縮、脱水、消化、焼却、熔融、炭化、その他
10. 計測・制御	計装装置、診断技術、監視装置、システム制御、通信ネットワーク、その他

○英語口頭発表部門

セッション名
1. 新技術 Technical Innovation（資源再利用、省エネルギー、地球温暖化対策、アセットマネジメント等）
2. 計画と実施事例 Planning and Case Study